

2016年度 学校関係者評価
報告書

学校法人滋慶学園
東京ベルエポック美容専門学校

作成日:平成 29 年 6 月 23 日

学校法人 滋慶学園 東京ベルエポック美容専門学校

第 1 回学校関係者評価委員会議報告書

報告書作成者:関口 幸江

1. 開催日時 平成 29 年 6 月 23 日 (金) 14:00~15:40
2. 開催場所 東京ベルエポック美容専門学校 第 2 校舎
3. 参加者 学校関係者評価委員

平成 29 年度学校関係者評価委員会 委員

岡田 真澄【保護者代表】

山元 健次郎 (株式会社 髪師 代表取締役)【業界代表】

木下 美穂里 (日本ネイリスト協会 理事/株式会社 ユミ・クリエイション

代表取締役)【業界代表】

学校側参加者

浮舟 邦彦 (滋慶学園 理事長)

浮舟 洋子 (東京ベルエポック美容専門学校 学校長)

片山 裕介 (東京ベルエポック美容専門学校 副学校長)

山口 敦 (東京ベルエポック美容専門学校 事務局長)

仁村 将大 (東京ベルエポック美容専門学校 美容師科・美容師実践科学部長)

鈴木 絵理 (東京ベルエポック美容専門学校 トータルビューティ科トータルビューティ専科学部長)

関口 幸江 (東京ベルエポック美容専門学校 学生サービスセンター)

4. 会議の概要

- (1) 各委員ご紹介
- (2) 委嘱状交付 全委員授与
- (3) 平成 28 年度自己点検・自己評価結果報告
及び平成 29 年度重点目標の説明
- (4) 質疑応答及び審議

(自己点検評価・重点目標説明への意見)

意見 1 職員が一人ひとりの学生をしっかりとサポートしている。少人数制授業とのことで、職員と学生の距離が近く、アットホームで暖かい学校だと感じている。其々に合わせて学生を育てている。

- 意見 2 現場では人間教育が重要視されている。アシスタントプログラムやTOPプロの授業等、現場と連携し業界に求められる人材を養成するカリキュラムは評価が高い。
- 意見 3 実際に授業の学生サロンを見学した。学生が楽しくお客様を接客し、サロンを運営していた。
学生生活は楽しいが、社会人になると厳しさもある。
近年は現場の変化を感じている。
新卒を含め、現場の働き方が変わってきている。
現場として、そうした時代の変化に対応していかなければならないと感じている。
- 意見 4 美容の現場は、新卒や転職、様々な年代が集まっている環境である。
「好き」を仕事にするということは素晴らしい。
「好き」だから仕事を続けることができ、手に職がつき、技術力も向上する。
- 意見 5 現在の職場では実習生を受け入れている。
専門学生は「職」に対する意識が高く感じるが、大学生は職に対する意識が低く感じる。
- 意見 6 東京ベルエポック美容専門学校は人間教育・職業教育を大切にしている。
「最新の美容」を取り入れ、常に業界と連携をしている。
そのような場で勉強できるのは子供にとって良い環境だと感じている。
最新の状況を意識することは大切である。
現場は新卒に「即戦力」を求めている為、必要なことである。
- 意見 7 専門知識や実践力を高めるという目標のもと、様々な教育を入れ込み人材育成していくという姿勢がよくわかる。先生達と同じ方向を向いて生徒達を引っ張っている様子が子供の様子を見てもよくわかり、大変励みに思う。

5. 次回開催予定日

平成 30 年 6 月 予定

6. 評価結果およびご意見に基づく改善方策

●より実践的なサロンワークを実施する為に、来年度より物販に特化した内容を授業に取り入れていく。